



図2-6 医薬品の情報源の分類（一次資料，二次資料，三次資料の概念）

表2-5 原著論文が掲載されている医薬系雑誌の例

|    |  |
|----|--|
| 国内 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Yakugaku Zasshi</li> <li>・ Biochemical &amp; Pharmaceutical Bulletin</li> <li>・ 医療薬学</li> <li>・ 薬剤学</li> </ul>  |
| 海外 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ New England Journal of Medicine</li> <li>・ The Lancet</li> <li>・ JAMA (Journal of American Medical Association)</li> <li>・ The Annals of Pharmacotherapy</li> </ul> |

が収集され、加工されている。現在では二次資料の多くはコンピュータ上のデータベースとして管理されており、キーワードによる一次資料の内容検索が可能である(表2-6)。

### 1) MEDLINE (PubMed)

米国国立医学図書館(NLM; National Library of Medicine)が、医学、薬学、看護学の全般的な分野について、医学関連雑誌を基に Index Medicus という冊子で書誌情報を発行している。MEDLINEはこれに抄録を付与したデータベースであり、臨床医学、実験医学、歯科学、看護学、病院関連文献、パラメディカル、薬理学、薬剤学、精神医学、心理学、獣医学、産業医学、栄養学、病理学、毒物学、各医学専門領域(外科、内科など)の文献(1950年以降)が収録されてい

る。MEDLINEの情報は、インターネット(PubMed: <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/>) および CD-ROMでも提供されている。

### 2) 医学中央雑誌

医学中央雑誌は、医学中央雑誌刊行会が発行している国内医学文献情報誌である。現在では冊子、CD-ROMおよび「医中誌WEB」の名称でインターネットによる検索サービスが提供されている。国内の医学、薬学および関連領域の刊行物(学会誌、大学・研究所・病院などの発行誌、学会などの会議録、講演集など)約2,400誌が収録されている。

### d 三次資料

三次資料とは、一次資料などの内容を特定の観点によって整理したり集大成したりしたものを指し、情報の加工度は最も高い。各種教科書、各専門書、辞書、辞典、医薬品集、医薬品添付文書、医薬品インタビューフォームなどがこれに相当する。近年では、同様の資料がCD-ROMなどの電子媒体やインターネットなどで提供されることが多い。その中で、臨床の現場などで利用価値の高い三次資料の例を(表2-7)に示し、以下に解説する。